

令和4年村上市議会第1回定例会
一般質問通告書

質問順

2月28日(月) 午前10時開会	1	稲葉久美子	1ページ
	2	富樫雅男	3ページ
	3	鈴木一之	5ページ
	4	鈴木好彦	7ページ
	5	上村正朗	9ページ
3月1日(火) 午前10時開会	6	高田晃	11ページ
	7	菅井晋一	12ページ
	8	鈴木いせ子	14ページ
	9	佐藤重陽	16ページ
3月3日(木) 午前10時開会	10	山田勉	18ページ
	11	河村幸雄	19ページ

質問順	1
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 9 番） 稲 葉 久美子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 市職員の現状について	<p>内閣府が2月7日に発表した「日本経済2021 - 2022」（ミニ経済白書）では、日本経済の成長が弱まった要因として、企業の利益ばかりが増えて、労働者の賃金が低下していることなどを挙げました。非正規雇用の増加と労働時間の短縮に伴って働く人の収入が二分化し、若年層と女性の貧困と格差拡大が進行したことなども指摘しています。</p> <p>ジェンダー平等の観点から次の点について伺います。</p> <p>① 令和3年4月1日現在の課長、課長補佐級及び係長級以上の男女別の人数を伺います。</p> <p>② 課長補佐級以上への役職の登用については、極端に男女の差が出ているのではないのでしょうか。市長の所見を伺います。</p> <p>③ 男女間で賃金の格差が生じていないのか伺います。</p> <p>④ 再任用短時間勤務職員の人数は22名（行政職19名。消防職3名）と聞いていますが、2020年から始まった会計年度任用職員の人数を伺います。</p> <p>⑤ 会計年度任用職員制度が始まった時には処遇改善につながったと思いましたが、どのように改善されたのか伺います。</p>	市 長
2 市當中川原住宅の建て替えについて	<p>① 平成29年の一般質問において、中川原住宅は需要があるため建て替えると言われていました。しかし、現在は建て替え以外も含めて検討しているようですが、経過について伺います。</p> <p>② 入居されている方々は建て替えを心待ちにしていたはずですが。今後の計画はどのようになっていますか。</p>	市 長

<p>3 新型コロナウイルス感染症対策について</p>	<p>るのか伺います。</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症の感染範囲が非常に広がっています。クラスター発生状況など現在の特徴について教えてください。</p> <p>② 感染経路が不明であることや症状がないことで市民の不安は大きくなっています。気軽に検査キットで検査できる対策について、市としても考えてはいかがでしょうか。</p> <p>③ 親から離れられない幼児や小学生がいる家庭で、大人が感染した時の対策についてどのようなことが考えられますか。</p>	<p>市長</p>
-----------------------------	---	-----------

[メモ]

質問順	2
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 3 番） 富 樫 雅 男

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 事業再構築支援について	<p>新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、経営が厳しくなっている事業者が多く見受けられます。そうした中で、事業再構築に取り組もうとする事業者への補助金制度について次のとおり伺います。</p> <p>① 多様な事業者を対象にした、思い切った補助事業が望まれますが、市長のお考えを伺います。</p> <p>② 新潟県新事業チャレンジ補助金の市内事業者の申請実績について伺います。</p>	市 長
2 感染症対策について	<p>今後も新たな変異株流行の可能性があるので、感染症対策について次のとおり伺います。</p> <p>① 濃厚接触者の家族も含めた生活物資の提供について、現状と課題を伺います。</p> <p>② 子どもや公共施設職員のメンタルヘルスへの対応と課題について伺います。</p> <p>③ PCR、抗原検査キットの公共施設、介護施設等への配備状況について伺います。</p>	市 長 教 育 長
3 スポーツ振興について	<p>本市はスケートボードの聖地を目指し、村上市スケートパークを核にした振興に取り組まれています。一方でスケートボーダーの裾野を広げる取組は十分とは感じていません。たくさんの初心者が楽しんで遊べる施設を整備して欲しいとの要望が多く聞かれます。市内の公園内等、何箇所かにスケートボードの屋外施設を設けていただきたいと思います。市長のお考えを伺います。</p>	市 長
4 多子世帯の給食費の負担軽減について	<p>子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境整備のため、まずは多子世帯の小・中学校の</p>	教 育 長

	給食費の負担軽減を検討いただきたいと思いますと考えますが、教育長のお考えを伺います。	
--	--	--

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（10番）鈴木一之

質問事項	質問要旨	答弁者
1 子育て環境の確保について	<p>多様化する子育てニーズに対応するためには、妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない相談支援を行い、関係機関が横断的に連携し協働の体制づくりを行うことが重要です。</p> <p>本市では、今年度から子育て世代包括支援センターが設置され、子育てに関する相談体制の充実が図られてきたと考えますが、次の点についてお伺いします。</p> <p>① 妊娠初期からの母子保健の取組を通して、保健指導や相談支援体制へつなげる具体的な対応についてお伺いします。</p> <p>② 子育て世代包括支援センター機能の強化の中で、相談等業務の具体的な状況とその対応についてお伺いします。</p> <p>③ ファミリー・サポート・センター事業やワーク・ライフ・バランスの推進についての現況と今後についてお伺いします。</p> <p>④ 医療的ケアが必要な子どもに対応するため、保育施設や学校等へ看護師資格を持つ「看護介助員」の配置が必要だと思いますが、現況をお伺いします。</p>	市長 教育長
2 介護予防と認知症について	<p>① 要介護者を減らす取組で、廃用症候群や加齢により身体や認知の機能が低下する「フレイル」を予防し、身体機能の向上を目指していくことが重要だと思いますが、現況と対応をお伺いします。</p> <p>② 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目的に設置された認知症初期集中支援チ</p>	市長

	ームの取組状況をお伺いします。 ③ 本市の若年性認知症の現況と対策についてお伺いします。	
--	---	--

[メ モ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 8 番） 鈴木好彦

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 保育の提供について	<p>保育ニーズが多様化する中、保育を希望する全ての家庭に対し、必要な保育を提供するなど、子ども・子育て支援新制度の下、新たな保育体系が構築されたとのことです。本市においても希望する全ての市民が等しく保育サービスを利用でき、かつ、年間を通じた需要に対応できるように保育園等の整備に努めなければならないところです。保育サービスの提供は、子育てしやすい社会の実現であり、子どもと子育て家庭に寄り添った環境づくりであります。このことは、第2次村上市総合計画の基本目標にも掲げられており、本市の重要な課題である急速な人口減少問題の対策の一つと位置付けられているところです。</p> <p>市民の保育ニーズに的確に応えようとする様々な取組のうち、保育園・認定こども園について次のとおり伺います。</p> <p>① 本市が提供する保育サービスには、保育園等の運営を始め3歳未満児保育、子育て支援センター事業、休日保育、延長保育等多岐にわたっていると思いますが、市のサービスを希望したにもかかわらず、希望どおりのサービスを提供できなかった現状について伺います。</p> <p>② 第2期村上市子ども・子育て支援事業計画では就学前児童と小学校児童の保護者に対してのニーズ調査の結果が述べられています。このニーズ調査で新たに気付かされた知見と結果を踏まえ事業計画に反映されたものについて伺います。</p> <p>③ 入園待機者の解消ができないまま現在に至りますが、「子育てしやすいまちを重要な目標として</p>	市長

<p>2 災害対策の取組について</p> <p>3 道の駅「朝日」の取組について</p>	<p>捉え、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境づくりと体制の整備に努めます」と掲げる本市にとって、この問題の解消は喫緊の課題と捉えませんが、解消に向けた取組を伺います。</p> <p>「村上市地域防災計画」や「村上市国土強靱化地域計画」に基づく、大規模自然災害等を想定した事前防災と減災に取り組むことは、市民の生命財産を守る上で欠かせないところです。そこで、このような箇所はどのくらいと想定しているのか。また、その対応についても伺います。</p> <p>① 道の駅「朝日」拡充基本計画の平成30年版と令和3年版との変更部分について伺います。</p> <p>② 市長は、拡充基本計画の「はじめに」において、「道の駅「朝日」の関係者が、多くの課題や目標を共有し、その解決策を同じベクトルで考え、具現化していくことこそが成功の鍵となり、最も重要である」と述べています。しかし、地元からは道の駅「朝日」について「いつできるのか」などの多くの意見があり、情報の共有という部分で疑問を感じています。そこで、この状況を解消するためにも、市長の強力なリーダーシップを発揮いただき、市民と共有できるロードマップをお示しいただきたいと考えますが、力強い牽引力のある考えを伺います。</p> <p>③ 道の駅「朝日」と朝日温海道路からのアクセス路線の施工計画について伺います。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 1 番） 上 村 正 朗

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 障がいのある子や発達に特性のある子に対する支援体制の整備について	<p>障がいのある子や発達に特性のある子に対する支援について、子や保護者並びに教育や福祉の関係機関、民間団体等の連携の下、乳幼児から学齢期、社会参加に至るまで、切れ目のない支援を受けられる体制の整備が必要であると考えます。そこで以下について伺います。</p> <p>① 市の関係課間の連携を強化するとともに支援の窓口を一本化するため、子育て支援担当課を教育委員会に設置する等、組織の在り方について検討すべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>② 「ぱすのーと」は情報共有のための重要なツールだと考えますが、十分活用されていないとの指摘もあります。今後の活用方針についてお聞かせください。</p> <p>③ 放課後等デイサービス事業所や学童保育所と学校との連携が重要だと考えますが、連携の現状についてお聞かせください。</p> <p>④ 「ことばとこころの相談室」について、心理職の配置など機能の充実強化を図るべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>⑤ 就学前の子や保護者が適切な就学先の選定を行うことができるように関係機関が連携して支援すべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>⑥ 在宅で人工呼吸器を使用する子について、災害時などにおける電力確保を図るため、家庭用蓄電池購入経費に対して助成を行うべきと考えますが見解を伺います。</p>	市 長

<p>2 自治体DXの取組について</p>	<p>昨年、デジタル改革関連6法が成立・施行され国や地方自治体におけるデジタル化の取組が急ピッチで進められています。そこで以下について伺います。</p> <p>① 現時点における本市のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の取組状況と来年度の主な事業予定についてお聞かせください。</p> <p>② 個人情報保護条例の改正に向けたスケジュールをお聞かせください。</p>	<p>市長</p>
-----------------------	---	-----------

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 4 番） 高 田 晃

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 アフターコロナを見据えた観光振興策について	<p>新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、感染防止対策の長期化により、社会・経済活動への影響が増幅しています。</p> <p>特に、本市の観光産業を代表する瀬波温泉や関連事業者の打撃は計り知れないものがあります。</p> <p>こうした状況を分析し、新型コロナウイルス収束を見据えた瀬波温泉の今後の観光振興策や環境整備等について、次の点をお伺いします。</p> <p>① 誘客促進に向けた今後の取組についてお伺いします。</p> <p>② 入湯税を活用した環境整備等についてお伺いします。</p> <p>③ 旧香藝の郷活用計画の進捗をお伺いします。併せて、村上市スケートパークと連携した推進策についてのお考えをお伺いします。</p>	市 長
2 国が示した処遇改善臨時特例事業への取組について	<p>政府は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、看護、介護、保育、幼児教育など最前線で働く労働者の収入を引き上げる方針（賃金を3%、看護職は1%）を打ち出しました。</p> <p>この処遇改善臨時特例事業を活用した本市の取組状況についてお伺いします。</p>	市 長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 2 番） 菅 井 晋 一

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 三面川の鮭の不漁と河川環境の改善について	<p>近年の温暖化などの影響により、鮭の遡上数が減少し、令和3年度の三面川における捕獲数は16,392匹（1月31日現在）で例年の3分の2程度にとどまっているという現状にあります。</p> <p>採卵数では、目標の1,000万粒に対し、683万6,000粒と大幅な減少となり、来春の稚魚放流尾数と4年後の遡上数に重大な影響が憂慮されています。</p> <p>鮭不漁の原因は、水産庁において全国的な調査もされているものの、明確な理由は示されていないことですが、伝統的な鮭文化を誇る村上市においては、原因の究明と共に、村上市でできる最善の対策を早急に講ずる必要があります。そこで、次の2点について、市長の所見を伺います。</p> <p>① 一括採捕数減少の一因であるウライを設置している護床工の老朽化について、本定例会にも三面川鮭産漁業協同組合から、その改修工事を求める陳情書が提出されています。市としても迅速な対応が必要と思われませんが、市長の所見をお伺いします。</p> <p>② 鮭と共に近年の鮎やサクラマスなどの水産資源の減少傾向対策として、河川環境・生態系の復元が求められています。その手法としては、河床の天地返しなどの対策が有効と言われていますが、現状の認識とその対策についてお伺いします。</p>	市 長
2 教員が働きやすい魅力ある職場づくりについて	<p>令和4年度教員採用試験の倍率は、全国平均が3.4倍、新潟県が2.9倍、新潟市が2.2倍と減少傾向が続いており、教員の長時間労働と若者の教員離れが課題となっています。</p>	教 育 長

	<p>教育は国家100年の大計、今の教育が100年後の未来の日本を作ると言われていますが、子どもと教員両方にとって学びやすく、教えやすい環境を構築する意味で、教員の労働環境の現状と今後の方向性について次の点をお伺いします。</p> <p>① 教員には残業代が支払われないと聞いていますが、勤怠管理の現状、時間外勤務の申告はどのように行われていますか。また、今後の改善についてどうあるべきと考えていますか。</p> <p>② 中学校の部活動では、部活動指導員配置事業により教員の負担軽減を図るとともに、生徒にとっても教員にとっても魅力ある部活動を目指し進められていますが、土日の取組など今後の具体的な運用方針をお伺いします。</p> <p>③ 教員の仕事に魅力を感じて、教職を志す人が増えるように、教員の働き方改革はどうあるべきとお考えか、教育長の所見をお伺いします。</p>	
--	---	--

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（13番） 鈴木 いせ子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 稲作の状況と今後の対策について	<p>令和3年の稲作は収穫量の減少と価格の下落という近年まれにみるダブルパンチがありました。</p> <p>稲作を取り巻く環境は、農家の担い手不足や高齢化により耕作放棄地の拡大が進んでいる状況です。更に山間部の耕作地は有害鳥獣被害により耕作意欲が失われ、年々荒れはてていく現実があります。</p> <p>農林水産省のホームページで「みどりの食料システム戦略」を見ましたが、目指すこれからの農業の方向性がデータを基に示されていました。</p> <p>については下記について伺います。</p> <p>① 令和3年の稲作の収穫状況は例年と比べてどのようになっていますか。</p> <p>② 米の単価が大幅に下がり、追加払いもされたようですが、最終的に岩船産コシヒカリのJA取引価格は60kgでいくらになり、農家の収入はどう変化したのか伺います。</p> <p>③ 令和4年度は、山間部で耕作放棄地が増えると思いますが、状況を把握していますか。</p> <p>④ 岩船産コシヒカリの食味ランキング「特A」獲得に向けた対策は考えていますか。</p> <p>⑤ 農業機械の大型化により、農家は費用面で苦慮していますが、どのような対策をしていますか。</p> <p>⑥ ふるさと納税の納税額は自治体の力の入れ方によって変化します。本市のブランド米である岩船米の魅力発信に力を入れるべきだと思いますが、所見を伺います。</p> <p>⑦ イノシシ・熊・猿・ハクビシン等の有害鳥獣対策について、令和4年度はどのように考えていますか。</p>	市長

<p>2 村上総合病院を基点とした医療体制について</p>	<p>① 村上総合病院における研修医の応募が少ないと聞いていますが、その現状を伺います。</p> <p>② 村上総合病院に併設しているむらかみ病児保育センターの利用状況を伺います。</p> <p>③ むらかみ病児保育センター利用者からはどのような意見が寄せられていますか。</p>	<p>市長</p>
-------------------------------	--	-----------

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（19番） 佐藤重陽

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 持続するまちの実現について	<p>本市は昨年、第3次村上市総合計画基本構想の中で「持続可能な開発目標（SDGs）」の考え方を取り入れたまちづくりを進める方向性を示しました。国連が「持続可能な開発目標（SDGs）」を推進し、日本が取り組み、それに呼応する形で村上市が取り組む。村上市の重点戦略は「第2期村上市総合戦略」及び「村上市行政改革大綱」と位置づけ取り組むとしています。</p> <p>「第2期村上市総合戦略」の目標を「持続するまちの実現」とうたっています。また、「村上市行政改革大綱」では、公共施設の適正管理や効率的な行政組織の構築、安定した財政運営に、あらゆる政策分野を横断的に取り組むとあります。私は、この二つの取組の成功こそが、明日の村上市を開き、持続するまちの実現を叶えるものと考え賛同します。</p> <p>「第2期村上市総合戦略」及び「村上市行政改革大綱」が絵花的・抽象的なものにならないようにするために、また、限られた財源を有効かつ効率的に使うためにも、優先課題を整理して重点施策を明確にし、メリハリのきいた計画にする必要があります。優先課題が明らかになってこそ、具体的な対応が考えられるのではないのでしょうか。そこで以下について市長にお尋ねします。</p> <p>① 現在、市が抱える喫緊の課題は何であると考えますかお聞かせください。</p> <p>② 課題に対する政策・施策に優先順位はつけていますか。</p> <p>③ 政策・施策を進める上で必要とする経費見込みと計画全体を支える財政の見通しは予見されてい</p>	市長

	<p>ますか。</p> <p>④ 村上市行政改革大綱の中心ともいえる取組の一つが、昨年からはまった「公共施設マネジメントプログラム」と考えます。今後の進め方についてお聞かせください。</p> <p>⑤ 重点施策を進める上で、市民・住民の理解と協力は欠かせないものと考えます。行政と共に市民も公共の担い手として、互いの能力を存分に発揮していただくような仕組みづくりが望まれています。住民自治をどのように育み、行政と関わることを想定していますか。</p>	
--	---	--

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（21番）山田 勉

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 蒲萄スキー場の運営について	スキー場を存続させるためには、夏場の有効利用が必要と考えますが、夏場に集客が多い瀬波温泉などと連携した活用方法について市長の所見を伺います。	市 長
2 人口減少に対する取組について	富山県南砺市では「南砺で暮らしません課」を設立し、結婚活動の支援、定住・空き家対策などの業務を行っています。勤務時間は午前10時から午後7時までとなっており、休日は年末年始のみとのことです。また、恋愛塾や写真お見合い会などのイベントを開催し、人口減少に対する取組を行っており、本市の人口減少対策の参考になると考えますが、市長の所見を伺います。	市 長
3 除雪の支援策について	今年は大雪となり、一人暮らしの高齢者世帯などでは除雪は大変だったと思います。今年度から玄関から道路までの避難路確保のための必要最低限の除雪も補助金の対象となりましたが、申請状況を伺います。	市 長
[メモ]		

質問順	1 1
-----	-----

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 6 番） 河 村 幸 雄

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 重要伝統的建造物群保存地区について	<p>令和4年度の施政方針に「重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた作業に着手し、その価値を広く後世に伝えていくため、関係団体と連携しながら取り組んでまいります」とあります。</p> <p>文化財として特に価値が高いと判断され国から選定されるもので、歴史的な町並みを保存して活用する制度であります。先人の築いた歴史、文化を後世に引き継ぐことは我々の責務であり、地域への愛着と誇りをもたらすものと思います。郷土村上を活性化する重要戦略として確実な実現に向けた取組を進めていただきたく、大いに期待するものです。</p> <p>つきましては、以下について伺います。</p> <p>① 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた取組を積極的に推進することについて市長の所見を伺います。</p> <p>② 選定に向けた進捗状況と今後のスケジュール等について伺います。</p> <p>③ 選定された場合の効果をどのように評価しているか伺います。</p> <p>④ 選定に向けて住民の理解と協力が不可欠と考えますが、どのように市民に伝え、共に進めていくのか伺います。</p>	市 長 教 育 長
2 活力ある観光への取組について	<p>活力ある観光を取り戻すためには、新たな仕掛けが必要になると思います。村上市は、株式会社庄交コーポレーション（鶴岡市）との観光連携協定を締結しました。マイクロツーリズムによる広域連携及び観光交流人口の拡大へ向けた地域経済の活性化を目的としたものと思いますが、以下の点について市</p>	市 長

	<p>長のお考えを伺います。</p> <p>① 新たな観光施策を進めるには、官民を問わず広域的な連携が鍵を握ると思います。大いに期待するものですが、今後の株式会社庄交コーポレーション（鶴岡市）との連携をどのように進めていくのか市長のお考えを伺います。</p> <p>② まん延防止等重点措置の延長により、感染への懸念から旅行のキャンセルが相次ぎ、観光業が大きな打撃を受けています。検証を進めつつ新たな旅行スタイルへ対応していく必要があると思います。村上市が直営する観光施設の今後の方向性について、経営改善や戦略強化へのお考えを伺います。</p>	
--	--	--

[メモ]